

第1回 名細地区

川合市長と語り合うタウンミーティング

日時：平成21年3月26日（水）

午後6時30分～8時30分

場所：川越西文化会館（メルト）

対象地区町字名

大字鯨井、大字上戸、大字吉田(小畔川の南側及び東武鉄道東上線以西を除く。)、大字天沼新田、大字小堤、大字下広谷、大字下小坂、大字平塚、大字平塚新田、大字竹野、大字栄、大字富士見、大字鯨井新田、大字的場の一部(東武鉄道東上線の北側)、大字上広谷、上戸新町、広谷新町

参加者

1 性別

男性	141
女性	109
無回答	0
合計	250

2 年齢別

	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	計
男性	0	0	3	3	18	70	46	1	141
女性	0	0	4	6	18	56	24	1	109
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	7	9	36	126	70	2	250

3 職業別

	学生	会社員 公務員	自営業	主婦	農業	その他	無回答	計
男性	0	22	32	0	10	76	1	141
女性	0	5	4	74	4	18	4	109
無回答	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	27	36	74	14	94	5	250

出席者

市長、総合政策部長、総務部長、財政部長、市民部長、福祉部長、保健医療部長、環境部長、産業観光部長、都市計画部長、建設部長、経営管理部長、事業推進部長、教育総務部長、学校教育部長

意見数

1 会場

発言者数... 21人

意見内容

分類	件数	内容	頁
教育・文化	4	・不登校対策	5
		・仮称名細地区統合公民館について（グランドピアノの設置要望、予約システムについて）	5
		・生涯学習について	8
		・仮称名細地区統合公民館について（カーテン、ステージ、駐車場、予約システムについて）	8
健康・医療	1	・健康向上のため川越市から問題提起を	8
福祉	5	・NPO団体の助成について	6
		・少子高齢化対策について	7
		・NPO団体の助成について	8
		・待機児童対策について	10
		・家庭保育室の保護者負担軽減策について	10
道路・交通	2	・道路採納について	6
		・通学路の拡幅について	9
環境・衛生	7	・新清掃センターの運営について	4
		・堤防の草刈り、遊水池の管理について	4
		・新清掃センターの公害防止協定について	4
		・迷惑施設の地域バランスについて	5
		・遊歩道の整備について	9
		・路上喫煙防止について	9
		・下水道整備について	9
公園	2	・なぐわし公園について	6
		・野球場の整備について	10
市職員	1	・公務員の背信行為について	6
税金	1	・固定資産税について	11
都市計画	1	・市街化調整区域の開発について	4
観光	1	・連続テレビ小説「つばさ」について	10
その他	6	・農業の活性化について	4
		・市の財政状況について	4
		・市の財政状況について	6
		・市庁舎建設について	6
		・名細地区に市庁舎を	6
		・中核市らしい運営	6
計	31		

2 ご意見用紙

時間の都合でご発言いただけなかった方につきましては、会場入り口に「ご意見用紙」を設置し投かんしていただきました。

分 類	件数	内 容	頁
教育・文化	1	・移動図書館について	1 6
福 祉	2	・民生委員について	1 4
		・金婚式のお祝いについて	1 5
道路・交通	3	・中央通りの歩行者天国について	1 2
		・シャトルバスについて	1 2
		・シャトルバスの運行回数について	1 3
環境・衛生	6	・環境推進員について	1 4
		・新清掃センターについて	1 5
		・新清掃センターの環境影響調査について	1 5
		・新清掃センターの運用について	1 5
		・下水道整備について	1 6
		・下水道整備について	1 6
施設運営	1	・西文化会館の優先利用について	1 3
観 光	2	・有料トイレの設置について	1 6
		・「つばさ」のロゴ入りTシャツについて	1 6
議会・選挙	1	・市議会のテレビ放送について	1 7
そ の 他	4	・西文化会館に出張所機能を	1 2
		・自治会の助成金について	1 3
		・タウンミーティングのテレビ中継について	1 3
		・タウンミーティングの質問時間について	1 4
計	2 0		

意見交換（要約）

《新清掃センターの運営、堤防の草刈り・遊水池の管理、農業の活性化》

意見 新清掃センターの管理運営についても、今回の工事の管理運営と同様、我々住民の意見を十分取り入れて進行してください。

小畔川について、堤防の草をもっときれいに刈ってください。川面の遊水地の管理もお願いします。

川越市の関係のなかで農業の活性化を図ってください。

川合市長 堤防の草をもうちょっと小まめに刈ってほしい、それから遊水地の管理もしっかりやってほしいという御要望は承りました。

その農業の活性化については、例えば農地を家庭菜園みたいな形で、農地を転用しないでそのまま使っていけるような方策や、農産物の直売所を設けて売ることができるようなシステムをつくっていくとか、幾つかそういうことは考えています。

《市街化調整区域の開発》

意見 市街化調整区域の開発が急ピッチで進んでいますが、将来の住みよい川越市をつくるため、基本計画の策定が必要だと思います。

川合市長 今のこのペースでどんどん宅地化されてしまっただけでは問題であるという意識は持っておりますが、農家にも、自分の老後のためにお金をつくっておきたいという考えがあるというのもよくわかりますので、農家の希望と、農地を残し、緑を残して、かつ乱開発にならないようにするための折り合いをどのあたりに置くかの問題になってくると思います。きちんと検討して、基本計画をつくっていくということが必要であると考えております。

《新清掃センターの公害防止協定》

意見 新清掃センターの公害防止協定を地元の自治会と締結すると聞いていますが、いつ原案を地元の自治会に示してもらえるのですか。

小川環境部長 試運転がことしの秋ぐらいには始まる計画にしておりますので、それまでに何とか協定に合意をいただきたいと思いますので、近々お示しをして検討していきたいと考えております。

《市の財政状況》

意見 川越市の財政は健全なのか、それとも赤字財政なのか、もし赤字財政であれば、どのように改善及び改革されていくのかご意見を伺いたしたいと思います。

川合市長 いろんな指数を見る限りでは、ほかの都市とそれほど変わらないのではないかという気もしますが、財政の硬直化は現に進んでいて、義務的な経費の占める割合がかなり大きくなっています。改善しなければならぬ状況であることは間違いなく思っています。

要らない事業、効果の少ない事業に使っているようなお金を削って、皆さんのためになるような事業に回していかざるを得ないだろうと考えています。

都市計画税が0.3%から0.2%に下げられているのも、今年度中にどうするか、検討して結論を出したいと思っています。

ここで「つばさ」が3月30日から始まりまして観光客がどっと増えてくると、その観光客に何とかしてお金を落としてもらって、何とかして市への収入を増やしていきたいと考えています。

《不登校対策》

意見 これからもっと不登校は増えると思いますので、現在でもさわやか相談員の配置とかありますけれども、ほかに考えていらっしゃるでしょうか。

川合市長 教育については関心がございます。まだ不登校の子どものための新しい事業については検討していない状況ですが、これからやっていきたいと考えています。

就任した後、教育に関して何を検討したのかということ、教育委員会を変えたいという思いがありまして、人事をいじりました。今のところはその点ぐらいです。

子どもは将来を担ってくれる立場の人ですから大事にしなければならないと思っております。道路の改善についても、危険が伴うような通学路については、できるだけ優先的に工事を実現していきたい、そんな考えでおります。

《迷惑施設の地域バランス》

意見 当地は、ごみの最終埋立地があります。それから新清掃センターの建設が行われております。この後、また産業廃棄物の処理場もできるやに聞いております。地域バランスはどういうふうにお考えでしょうか。

川合市長 この名細地区の皆様方には、ごみ処理場であるとかいろいろお引き受けいただいていることは十分承知しております。これから先の展望として、いわゆる迷惑施設等につきましても、余り一カ所に偏らないような形でお願いしていきたいと思っております。

《仮称名細地区統合公民館（グランドピアノの設置要望、予約システム）》

意見 名細地区統合公民館のことですが、グランドピアノを何とか設置していただき、そのための運搬用の台車を設置していただきたいということ。あとは、部屋の予約シス

テムを、例えば半年先の予約がとれるというような検討をお願いしたく思っております。

川合市長 名細地区統合公民館にグランドピアノを置いた場合、ほかの活動の場合のスペース的な障害になるというような報告も受けております。ほかの活動との兼ね合いという問題も含め、検討をさせていただきたいと思えます。

《NPO団体の助成》

意見 NPO法人というのは、営利を目的としていない非営利な団体なので持ち出しが多いわけです。昨年、ふれあい福祉まつりの仲間に入れさせいただき、わずかな売り上げを活動費に充てたわけですが、安比奈親水公園まつりにも一度参加させていただけないかと行政の窓口をたたきました、もう決まっているものだから無理だという話でした。NPOにもぜひ助成金とか収入の場を与えていただきたいと思います。

清水市民部長 市民部のほうで、現在協働指針を策定いたしました。市民部の市民活動支援課が所管しておりますので、ご相談いただければと思います。

《市の財政状況、市庁舎建設》

意見 市の財政は、黒字とは思っておりませんが、それをどんな事業で黒字化していくのか。無駄がいっぱいあると思います。そういうのをどうやって改善していくのか示してもらいたい。川越市の住民に、5年後、10年後にはこうなるという指標を示していただきたいと思います。

市庁舎を建てるとか建てないとかという議論がありますが、きょうは建てないと言ってもらいたい。

川合市長 市庁舎の問題は、建てないというふうに言ってほしいというお話でしたけれども、残念ながら建てられません。今、市庁舎について何を考えているかということ、いずれ建てかえなければならない時期のための積み立てを始めなければならない、そういうようなことは考えています。

財政については、幾つかのやめるべき事業はやめて、必要なほうに振り向けていく、今その見直しを徐々に進めているところであります。5年後ぐらいにはこういう財政状況はどこかで必ずお示ししたいと考えております。

《名細地区に市庁舎を、公務員の背信行為、なぐわし公園、中核市らしい運営、道路採納》

意見 一人当たり23万円の負債を抱えているというようなことをお話しされておられて、それでなぐわし公園には90億円、これで金儲けをしようということは合点がいきません。90億円もかけるのだったら、あそこに市の庁舎をつくれれば活気にあふれる。

あと、公務員の背信行為、これもこの間の広報に載っていましたが、やはりお金につ

いてのチェックをきちんとやってもらわないといけない。今回の 25 日号の広報では説明が足りないし説明責任を果たしていない。

なぐわし公園についても公民館に来て各自治会に対して説明をしたが、自分が出した意見についても音沙汰なしです。

公開討論会のときにも市長さんは、中核市らしい行政をやっていききたいというふうなことをおっしゃっておられました。ぜひ実現してほしいというふうに思います。

法 42 条の 2 項のことで、市へ採納したいということも出ましたがやってくれない。

水が流れてある家が困っていることを書類にして出したところ、市の職員の方が来てくれたにもかかわらず、しばらくすると、やっぱりやりませんと。

名細に清掃センターができて、煙突がピサの斜塔みたいに斜めになるのではないかなと思ったりもしています。排ガスで空気も汚れたり、芳野台のように鉄材で家はつくれないとかならないように、よくチェックをしてください。

川合市長 職員の不祥事は、財団法人川越市青少年健全育成協会という団体の中で起こったことではありますけれども、事務所も市役所の建物の中にあった団体ですから、それは市の責任とイコールと考えます。チェック体制を完備して、二度と不祥事が起こらないように、即厳しい処分や、隠蔽することがないように今後やっていきたいと考えております。

公開討論会のときのことは、中核市としてのきちんと機能を発揮した上で、その先を考えていききたいということだったと思います。これからどんどんやっていききたいと思っております。

なぐわし公園に 90 億云々というのは、単年度で 90 億というわけではないということでございます。

《少子高齢化対策》

意見 少子高齢化の問題については、自治会としても取り組まなくてはいけないと思っておりますが、高齢者、介護の問題にどのように取り組んでいただけるのですか。

川合市長 ひとり住まいの高齢者の方に対するサービスを充実していかなければということは考えております。一般的に介護の問題ではない高齢者の方々については、担当の福祉部長からお答えいたします。

栗原福祉部長 川越市老人保健福祉計画、また介護保険事業計画というものがございます。介護保険の事業計画につきましては、今年度に第 4 期事業計画を策定いたしまして、必要な見込み量に対してサービスが提供できるような計画を策定しております。

介護保険だけでは、地域の見守りといった部分については十分できない部分がございます

ますので、今後さらに地域のネットワークの構築などについて力を入れていきたいと考えております。

《NPO団体の助成金、生涯学習》

意見 ボランティア活動をしています。助成金が減ってきて、3年目にはゼロになるということを知りました。無料の情報紙を配っていますが、ぜひ紙代だけでもいいので、助成金としていただければと思っております。

川越市も窃盗がすごく多いです。メールでお伝えしていただいておりますが、悪いことをしない心優しい子どもたちをつくるため、母親の教育がすごく必要だと思っております。生涯学習課でもいいので、教育にもう少し力を入れていただきたいと思います。

川合市長 どうも貴重なご意見をありがとうございます。

《仮称名細地区統合公民館（カーテン、ステージ、駐車場、予約システム）》

意見 統合公民館の建設に意見を取り入れていただきましてありがとうございます。多目的ホールを可動式の椅子にさせていただいて感謝申し上げます。

カーテンがないということを知ったので、引き戸のあるレールを基礎工事の中で埋め込めないでしょうか。また、舞台の高さが30センチだそうですが、50センチぐらいにできないでしょうか。

駐車場の件ですが、大きなイベントがあると足りなくなりますので、今の駐車場を利用できるのかどうかお聞きしたいと思います。

予約システムですが、イベントがあるときには半年ぐらい前から予約できないかどうかをお伺いします。

有山教育総務部長 カーテンの件ですが、構造上難しいので予算的にもスケジュール的にも多少無理かという感じがしています。

ステージの関係は、ステージと床面が一体的に利用できるように、あえて30センチにしました。ご理解をいただきたいと思います。

駐車場につきましては、今現在、名細公民館が使っているところをイベントについてはお借りする方向で検討しております。ただ、雨の時は混み合いますので、なるべく相乗り等をお願いしたいと思います。

予約システムですが、これは全部の公共施設が2カ月前から申し込んでいただいて、1カ月後、抽選になります。そのシステムについては変えない方向でやっていきたいと思いますが、地域にとって一番のイベントであれば相談には応じていきたいと思っています。

《健康向上のため川越市から問題提起を》

意見 「健康向上のために川越市から問題提起を」というタイトルで要望書をお渡しさせていただきました。その件についてご記憶があるかどうかということと、さらに緊急提言書をきょうお持ちしましたのでそれをお渡ししたいと思っています。

川合市長 大変申しわけございませんが、いろいろな方からお手紙や要望をいただいております。全部目を通してはいるつもりですが、今おっしゃった要望書が私のところに寄せられたかどうか記憶にないので、それはお預かりして読ませていただきます。

《遊歩道の整備》

意見 小畔川の右岸、なぐわし公園までの遊歩道を建設していただきたいなと思っています。一般道路を歩いて行くよりは、遊歩道を通って行けるような形をとっていただきたいと思います。

中里建設部長 小畔川は一級河川でございます。下流より東武東上線まで国土交通省の荒川上流河川事務所の管轄となっております。また、東武東上線より上流側は埼玉県川越県土整備事務所の管理となっております。

東武東上線より上流につきましては、市民が水辺に親しめる川づくりを目指して、環境護岸だけでなく、親水公園として川越県土整備事務所が整備を行っております。

遊歩道等につきましては、地元としての要望がありましたら、内容を再確認し、今後、川越市からも国土交通省あるいは埼玉県に対し要望してまいりたいと思っております。

《路上喫煙防止》

意見 環境推進員をやっていますが、鶴ヶ島駅利用者のたばこの吸殻やごみの投げ捨てが多いです。私も個人的に拾っていますが、環境部長さんにも一度見てもらいたいと思います。

小川環境部長 現在、路上喫煙防止のための条例を制定しておりますが、推進員としてご協力いただいているということで、まことに感謝しております。一度お邪魔をして状況を確認させていただきたいと思います。

《通学路の拡幅、下水道整備》

意見 市道 2017 号線ですがやっと拡幅の運びとなりましたが、財政、予算の面で完成するまで早くも 5、6 年という説明を受けました。この道路は生活道路となっておりますが通学路でもあり、非常に危険にさらされています。早期に拡幅をいただけるようお願いいたします。

私の住んでいるところは下広谷北で下水道が完備されていません。今は合併浄化槽ですが、住宅がここ 1 年で 70 戸あたりできて下水問題で困っています。今後、農村地帯でも下水道の設置は計画的に考えておられるのですか。

染谷事業推進部長 川越市内は、公共下水道区域と、農業集落排水事業で処理をする区域と、合併浄化槽で処理をする区域、そういう三つの区域がございます。事業推進部では、川越市の6割強の面積を公共下水道で処理しようとしているわけでございます。

全体区域に入っていれば調整区域であっても整備していきたいと考えています。場所の特定できませんのでなんとも言えませんが、今言った三つの方法で処理していきたいと考えております。

《朝の連続テレビ小説「つばさ」》

意見 NHKの「つばさ」で川越が全国に注目されるということですが、協力のお気持ちがおありなのかその辺を教えてください。また、一般市民として協力できることがあれば何でもやりますので、そういうお話をいただければと思います。

川合市長 もちろん協力の姿勢でいろいろやっております。手っ取り早い例では、名刺に「つばさ」のロゴマークを入れて一生懸命配っています。知事も時の鐘の写真が入った名刺を一生懸命配ってくれています。行政としてもできる限り盛り上げて、川越に着目してほしいという運動をやっております。川越にお金を落とさせていただきたいという思いがございまして、そういうようなことを今一生懸命考えているところです。皆様方も名案がありましたらぜひ寄せていただきたいと思います。交通渋滞、駐車場やトイレの不足などに対してもできる限りの対応はしていきたいと考えております。

皆様方にぜひご協力をいただきたいのは、例えば、道を聞かれたら親切に答えてあげるとか、そういう面でご協力をいただけたらありがたいと考えております。

《野球場の整備》

意見 少年野球をやっていますが、グラウンドが少なくて困っている状況です。なぐわし公園ができるということで、市内の大会を消化するには4面ぐらいあると消化できるんじゃないかなと思っています。

川合市長 球場が足りない、あるいは質がよくないというそういうお話は伺っております。ぜひ実現していききたいというふうに考えておりますが、すぐというわけにはまいらないと思います。数年単位で考えていただきたいと申し上げたいと思います。

子どものスポーツを振興するということは、教育の面でもプラスになりますし、それから健康づくりにもなります。そういう効果も必ず出てくることですから、ぜひ力を入れてやっていきたいと考えております。

《待機児童対策、家庭保育室の保護者負担軽減策》

意見 これだけ働くお母さんが増えてきているので、市のほうでもっと積極的に保育園をつくってください。市で受け入れていただけないのだったら、市と同じぐらいの保育

料で家庭保育室に入れるように考えてください。

栗原福祉部長 今回の待機児童の関係は、重要な課題だということで認識をしております。保育園の新設はすぐにできることではないのですが、できるだけ保育園の定員をふやすということに努めていきたいと考えております。

保護者の負担軽減の部分も、年々少しずつ増額はしているのですが、まだまだ負担の差があるという状況にあります。家庭保育室に入れた場合の保育料の負担軽減につきましてもさらに充実をしていきたいと考えております。

《固定資産税》

意見 土地が非常に下落しております。不動産屋で見積もりますと、バブル期の4分の1、あるいは8分の1ぐらいに下落しております。固定資産税を下げてくださいということはいかがでしょうか。

川合市長 土地の下落との関係で、今の水準の課税がふさわしいのかどうか、それはもちろん見直しはいたしますが、私の回答としてはそういうことになってしまいます。

意見 上戸地区は市街化区域でございます。バブルは対象外といたしましても、今4分の1ぐらいに下落しておりますが、固定資産税が若干上がっているような状態だと、常識的に考えるとちょっとおかしいと思います。

久都間総務部長 確かに地価公示がここで発表されましたけれども、相当下落してございます。固定資産の評価の見直しは毎年やらせていただいておりますので、なるべくその地価動向に見合った評価をしてまいりたいと考えております。ただ、固定資産税の場合は、税率そのものを変えるということは地方税法上できません。地価公示等を利用しながら評価しますので、タイムラグが出てしまうのですけれども、一生懸命その辺は反映させて評価をさせていただきたいと考えております。

ご意見用紙に対する見解

西文化会館に出張所機能の一部を設置してください。

【見解】(仮称)名細地区統合公民館のオープンに伴い名細出張所は400m程移動することになりますので、周辺の皆様にはご不便をおかけすることもあるかと考えているところでございます。

しかしながら、西文化会館の中に新たに市民サービスのための施設を設置することにつきましては、現在の厳しい財政状況のなかでの費用対効果、他の地域や出張所などのバランス、あるいは西文化会館内におけるスペースの確保など様々な課題がありますことから、難しい状況でございます。

現在、霞ヶ関駅から名細出張所を経由して鶴ヶ島駅に至る川越シャトルが往復合わせて19本運行しておりますので、この路線に新たに(仮称)名細地区統合公民館前のバス停を設置することを検討しております。

「つばさ」の影響でたくさんの方が来ると思うので、本川越から札の辻まで土日は歩行者天国にしてはいかがでしょうか。

【見解】札の辻から仲町交差点までの交通対策につきましては、以前より歩行者の安全確保と交通処理が課題となっていたため、関係機関及び地元自治会代表者が参加する委員会を設置し、調査検討を続けてまいりました。特に最近は、一番街を中心とする歴史的町並み地区に、多くの観光客が訪れるようになりました。そのため、春祭り期間中のゴールデンウィークには、春祭り特別イベントとして5月3日～5日の3日間を時間規制の歩行者天国とし、歩行者の安全を確保しながらゆっくりと川越の町並みをみていただけるよう対応を図ったところです。

こうした交通規制を実施するためには地域の方々の協力と、警察との連携が不可欠であるため、関係機関と自治会が参加する委員会において通行止めを含む交通対策について話し合い、実験的に実施をしながら、より良い交通対策を検討し実施していきたいと考えています。

西文化会館の停留所において、文化会館の軒下でシャトルバスの乗車待ちをする場合があるので、見逃さないようにしてください。

【見解】西文化会館の停留所と文化会館の軒下は場所が離れている為、軒下で乗車待ちをしていると、バスの運転手が見逃す恐れもあり、来館者が乗車待ちをしている利用

者かどうかの判断も難しいかと思われます。バス会社に対して、十分注意するよう指導してまいります。バスが敷地に接近した段階で早めに停留所へ移動下さいますようお願い致します。

西文化会館経由のシャトルバスの運行回数を増やしてください。

【見解】川越シャトルは限られた台数の中、1台の車両がダイヤに基づき複数のルートを組み合わせて運行していることから、仮に増便するとした場合、他の路線も含めて調整し変更しなければならず、現状では難しい状況と考えられます。

また、西文化会館については、シャトル10系統と12系統が乗り入れており、特に10系統については1日に計19便と他の路線と比較しても便数の多い路線となっております。今回のご意見に関しましては、今後川越シャトルの運行を検討する上で参考にさせていただきたいと思えます。

自治会館の段差解消工事の助成金を出してください。

【見解】自治会集会施設の修繕につきましては、「川越市自治会集会施設等整備事業補助金」制度により、当該事業に要する経費の3分の2以内かつ2,000,000円を限度として助成を行っております。

毎年8月、各自治会あて翌年度の利用希望調査のため、「自治会集会施設増改築修繕等工事实施予定書」を送付いたしますので、補助金交付を希望される場合はご提出くださるようお願いいたします。

なお、本制度で対象となりますのは、あくまで自治会集会施設本体及び本体に付帯するものに限りますので、例えば集会施設本体に付帯していない周囲の段差解消工事等は対象外となりますのでご注意くださいようお願いいたします。

西文化会館を地域住民が優先利用できるようにしてください。

【見解】川越市内の文化施設は、地方自治法に規定される公の施設であり、市民の皆さんに広く公平にご利用いただく施設として設置しているものでございます。したがって、一定地域の市民の方に対して利用を制限したり、優先的に利用いただくことは設置の目的に沿いませんので、ご理解くださいますようお願いいたします。

タウンミーティングのテレビ中継（全中継）をしてください。

【見解】タウンミーティングにつきましては、川越ケーブルテレビにニュースとして取

り上げていただいております。全中継をするには、開催時間の午後 6 時 30 分から午後 8 時 30 分までの約 2 時間を確保する必要があり、テレビ局との調整なども含め困難であると考えます。

タウンミーティングの内容につきましては、広報川越やホームページなどで周知を図って参りたいと考えております。

タウンミーティングの質問時間を制限した方が良いと思います。

【見解】タウンミーティングでは、できる限り多くの方からご意見を伺うべきと認識しております。制限時間を設けることは困難ですが、冒頭に発言を簡潔にさせていただくようお願いしております。

民生委員、環境推進員の P R が必要です。

【見解】民生委員・児童委員は、(市長の推薦により)厚生労働大臣等から委嘱をされ、各種の社会福祉活動を行っている「地方公務員の特別職」として位置づけられています。川越市では、平成 21 年 4 月 1 日現在、22 地区で 465 名の民生委員・児童委員の方々が、地域住民のよき相談者、支援者として、日々活動をし、地域福祉の向上に努めています。

市ではホームページ上に「民生・児童委員」という項目を設け、民生委員・児童委員の活動内容等を掲載するとともに、「川越市保健・医療・福祉のしおり」において、民生委員・児童委員の活動状況等を掲載しています。

そのほか、川越市民生委員児童委員協議会連合会が「かわごえ民児協だより」という広報誌を年 3 回発行し、民生委員・児童委員活動について紹介しているところです。

今後は、川越市民生委員児童委員協議会連合会や川越市社会福祉協議会と連携を図り、「かわごえ民児協だより」の配布の拡大や、「広報川越」等に掲載するなど、周知方法について検討したいと思います。

また、環境推進員につきましては、平成 14 年度に「かわごえ環境推進員制度」を設け、ごみの減量や地域の快適な生活環境の保全に関し、市と市民が相互の協力のもと、その推進するための活動を行っており、平成 21 年 4 月 1 日現在、市内で約 850 名の市民が委嘱されております。

かわごえ環境推進員の P R につきましては、現在、「環境推進員だより」を発行して、環境推進員による、ごみの分別の指導、また、ごみの減量化の啓発に関する活動等の報告を行っております。

今後につきましては、更に環境推進員の活動等につきましてPRできるように、その方法等について検討していきたいと考えております。

金婚式のお祝いをしてください。

【見解】川越市では、昭和56年度から継続して川越市金婚祝記念品贈呈要綱に基づき、毎年9月1日現在夫婦ともに川越市に住所を有し、その年の間に結婚期間が50年に達する夫婦に記念品を贈呈しています。

方法としては、6月25日号の広報川越にて周知し概ね7月半ばまでに届け出た夫婦を対象として、9月の敬老の日の近辺に地区の民生委員を通じて記念品をお渡ししています。今後も、敬老と長寿を祝うこの制度の周知を図ってまいります。

新清掃センターは、施設の耐用年数が過ぎたら廃止してください。

【見解】新清掃センターにつきましては、「耐用年数」というものがございません。施設の廃止につきましては、施設の機能検査の結果やごみ処理を取り巻く社会情勢等を勘案し、適切な時期に検討してまいりたいと考えております。

新清掃センターでは、環境影響調査は定期的に行い、結果を公表してください。

【見解】新清掃センターの稼動に伴う環境影響調査は、定期的を実施するという性格の調査ではございませんが、施設からの排ガス等の成分につきましては、常時測定可能な成分につきましては常時掲示板に表示をし、測定に一定の期間を要する成分につきましては広報やホームページに掲載するなど、積極的にお知らせしてまいりたいと考えております。また、排ガス成分等につきましては、設置を予定しております住民協議会におきましても報告すべき事項であると考えております。

新清掃センターの施設運用により被害が発生した場合保障してください。

【見解】新清掃センターの運転管理につきましては、まず、公害等が発生させないよう、万全の対策を講じてまいります。

しかしながら、万が一、新清掃センターの稼動に起因する健康被害等が生じてしまった場合におきましては、早急に被害の拡大を防止する措置を講じるとともに、誠意を持って補償を行ってまいりたいと考えております。

また、被害の補償を行うことにつきましては、締結を予定しております公害防止協定にも、規定すべき事項であると考えております。

有料トイレを設置すれば良いと思います。

【見解】有料トイレは、都市の駅周辺に設けられるケースが一般的です。そうした設置の意識は、十分に普及しているとは言えず、すべてのトイレに当てはまるまでには至っていないようです。施設への投資、維持管理に要する人件費等を考えると相当数の利用者が見込めない場合は、一般のトイレ以上に経費がかかることとなります。

トイレは観光にとって重要な施設です。受益者負担という見地や将来的に有料トイレへの理解などが高まる状況になりましたら、検討して参りたいと考えております。

「つばさ」のロゴ入りTシャツを作れば市の収入になると思います。

【見解】「つばさ」のロゴについてはNHKエンタープライズが著作権を保有しており、ロゴ入りのTシャツ製作について尋ねてみましたところ、現在までにTシャツへの使用は許可されておられません。

小堤東団地の下水完備をお願いします。

【見解】本市の公共下水道は、将来的には公共下水道の手法で整備をしようとする区域を全体計画区域と定め、その中を順次整備しております。

整備にあたっては、長い年月と莫大な事業費が必要となるため、限られた財源を考慮しながら5年間から7年間毎の事業計画をたて、認可区域として計画的に推進しているところであります。当該地区も、この全体計画区域内に有りますが、公共下水道の整備にはしばらく時間が必要な状況となっております。

大竹地区公共下水道を、新清掃センター完成までに使用できるようにしてください。

【見解】当該地区は、現時点において公共下水道全体計画区域外に位置しているため、下水道「汚水」整備はできないと考えています。

しかし、平成21年度に本市計画の上位計画である「都道府県構想」の見直しに伴い、本市生活排水処理基本計画も見直す予定となっております。この見直しの中で、大竹地区の公共下水道の方向性についても検討していきたいと考えております。

西図書館が設置されたことにより、移動図書館が廃止されましたが、西図書館は遠いので移動図書館サービスを再開してください。

【見解】川越市では、市民が身近なところで図書館サービスが受けられるよう、平成1

2年に図書館サービス網計画を策定いたしました。

この図書館サービス網計画は、中央図書館のほか、川越駅周辺と市内東西南北に地域の拠点となる図書館を設置することをめざしており、それ以外にも分室、配本所及び移動図書館により、市内全域を網羅したきめ細かなサービスを展開することを目的としておりました。

しかしながら、移動図書館に関しては、昭和59年にスタートし、翌昭和60年に利用のピークを迎えて以来年々減少の一途をたどり、平成14年には西図書館・川越駅東口図書館が相次いで開館した影響もあり利用が激減いたしました。平成17年度においては、ピーク時の10分の1にまで減少しております。

また、平成15年には埼玉県生活環境保全条例によるディーゼル車の運行規制が始まり、当館所有の移動図書館車は平成19年9月には車両の更新をしなければ運行出来ない事態となってしまったため、図書館協議会においての協議を経た後平成19年3月末日をもってやむなく廃止することといたしました。

今後につきましては、新規に車両を購入する費用や、運行に携わる人員の確保など費用対効果を見極めた上で、慎重に検討してまいります。

市議会の様子をテレビ放送してください。

【見解】議会中継につきましては、議会運営委員会でインターネット配信を含む改革事項の1つとして位置づけ検討をしております。